

【推進体制】

事業所長の下に省エネ委員会を設置し、エネルギー管理士を中心に省エネ活動を推進しています。月1回開催されるRC委員会にて、省エネ活動の啓蒙を行っています。2000年10月に、ISO14001認証取得し、省エネ（CO2削減）に継続的に取り組んでいます。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山工場	(令和3年度実施分) ・電解槽のイオン交換膜の更新による電力使用量の削減（CO2削減量 800t/年） ・電解槽立上げ方法見直しによる、電流効率改善に伴う使用電気量の削減（CO2削減量 216t/年） (今後実施予定分) ・電解槽のイオン交換膜の更新による電力使用量の削減（CO2削減量 800t/年） ・廃熱回収設備の運転条件調整による使用蒸気量の削減（CO2削減量 238t/年）
水島工場	(令和3年度実施分) ・no2ケン化塔圧力見直しにより蒸気使用量を削減する。（CO2削減量 664t/年） ・重合槽攪拌機を運転方法をみなし電気使用量を削減する。（CO2削減量 109t/年） (今後実施予定分) ・汚泥減容化による使用蒸気量、電力量削減（CO2削減量 695t/年）
共通	・エアコンフィルターの定期清掃の実施

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

2021年7月より岡山化成株式会社は親会社の株式会社大阪ソーダへ吸収合併されました。そのため、今年度分より大阪ソーダの報告書は水島工場と岡山工場合算で、報告書を提出いたします。合算とするために、目標値、製品換算方法などを変更しました。

報告書は水島工場2021年4月～2022年3月分と岡山工場2021年7月～2022年3月分の合算にしています。岡山化成の2021年4月～6月実績分は旧岡山化成排出分として別書類で提出しています。

原単位算出用の生産量は水島工場は代表製品のエピクロロヒドリン換算生産量、岡山化成はかせいソーダ生産量で原単位当たりの排出量を計算していました。

2工場合算に伴い、換算製品をかせいソーダへ統一しました。

合併に伴い計画書の変更届をR1基準でR2～R5で提出しました。変更届の目標値に合わせるように報告書の目標値を変更しています。

・ベンチマークはソーダ工業の岡山工場生産分で算出しています。合併後の7月～3月までの実績数量で算出しています。